

## 借金は悪？絶対、均衡財政！

市川市は、毎年50億円以上の借金をしています。今年平成22年度は79億円の借金をして予算を組みました。(子ども手当が例年より多く借金した原因です。)

戦後の日本は「ケインズ政策」(※政府が積極的に歳出を行なうことで失業問題等を解決しようとする経済政策)の元に発展を遂げました。戦後の社会インフラが破壊された状況から政府主導の公共事業が必然的に要求されたためです。戦後から65年経った現在でも、不況だからこそ(仕事の)供給が必要だ！国や市が借金してでも供給が必要だ！という「ケインズ政策」の元、毎年借金を重ね続けています。結果、市川市は1146億円の借金があります。市川市民ひとり当たり25万円の借金です。

私の望む政策を述べます。「ケインズ政策」と相對する「均衡財政」(※財政の歳入と歳入を均衡させる事)の死守です。現在の不況は供給側ではなく、需要側のものがある。という仮説を持っているからです。財政支出ではなく、規制緩和等により「新産業育成」「企業活力の向上」を図り、需要を盛り上げるのが肝要です。それにより「将来不安の軽減」「消費性向(≠消費意欲)の上昇」「失業率の改善」を図るべきです。

「均衡財政」を望む理由を別の面から述べます。借金をする政治家を私達は選挙で選んでいますので、私達が苦しむのは自業自得です。でも、借金を返すのは誰でしょうか？選挙権が与えられていない子供達です。なのに、当たり前のように借金を繰り返しています。子供達から見れば、借金をしている政治家と共に、そんな政治家を選んでいる私達も、同罪で、借金を押しつけている原因です。こんな市川市は不幸です。

まずは均衡財政。そして、借金全額返済。これが私の実現したい市川市です。お金がないと何もできない。という意見もあるかもしれませんが、ですが、私は違う意見です。お金がない時は、創意工夫が大切です。創意工夫に満ちた市政を実現します。

みなさんで「将来、みんなが喜んで住んでいける市川市」を思い描き、話し合ってください。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されると信じています。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ♪

平成22年9月6日

増田好秀